２０２６年９月１４日

幹　事　各　位

ＪＲタワー共同危機管理協議会
幹事長　　村　井　広　樹

２０２６年度　ＪＲタワー秋季総合防災訓練の実施について（ご案内）

白露の候　皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃より、当協議会の事業運営に格別のご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。
さて、２０２６年度の事業計画に基づき、標記訓練を下記のとおり行いますので、訓練参加について特段のご配慮を賜わりますようお願い申し上げます。

記

１　目　的

この訓練は、ＪＲタワー施設内における災害及び事故を予防し、お客様が安全で安心して利用できる快適な施設環境を維持するため、会員事業所間における自衛消防隊の連携活動を通して、災害発生時のお客様、社員及び従業員の安全確保と施設の保全と被害の軽減を図ることを目的とする。

２　日　時

２０２６年１０月８日（木）　午前８時５５分から午前９時３５分まで
⑴　午前８時５５分から訓練開始
　ア　オフィスプラザさっぽろ（札幌駅総合開発・朝日不動産管理）
　イ　ＪＲタワーホテル日航札幌
⑵　午前９時００分から訓練開始
　⑴　ア、イを除く事業所

３　訓練実施場所

各事業所及び札幌駅南口駅前広場（雨天の場合は東コンコース）

４　訓練想定

１０月８日（木）札幌市内で震度６強の地震が発生し、複数の店舗から出火、協議会本部長は各対策本部長に対し、初期消火活動と館内にいるお客様及び従業員を札幌駅南口駅前広場へ避難させるよう指示した。

５　訓練実施計画

別紙による。

ＪＲタワー共同危機管理協議会

２０２６年度ＪＲタワー秋季総合防災訓練実施計画

１　目　的

この訓練は、ＪＲタワー施設内における災害及び事故を予防し、お客様が安全で安心して利用できる快適な施設環境を維持するため、会員事業所（以下「事業所」という。）間における自衛消防隊の連携活動を通して、災害発生時のお客様、社員及び従業員等の安全確保並びに施設の保全及び被害の軽減を図ることを目的とする。

２　日　時

２０２６年１０月８日（木）　午前８時５５分から午前９時３５分まで

⑴ 午前８時５５分から訓練開始

ア オフィスプラザさっぽろ（札幌駅総合開発・朝日不動産管理）

イ ＪＲタワーホテル日航札幌

⑵ 午前９時００分から訓練開始

⑴ア、イを除く事業所

３　実施場所等

⑴ 実施場所

ＪＲタワー周辺

⑵ 避難場所

札幌駅南口駅前広場（雨天の場合は東コンコース）

４　主催・参加事業所

⑴ 主　催

ＪＲタワー共同危機管理協議会

⑵ 参加事業所

ア 札幌駅総合開発株式会社

イ 株式会社大丸松坂屋百貨店大丸札幌店

ウ 朝日生命保険相互会社（朝日不動産管理株式会社札幌支店）

エ 北海道旅客鉄道株式会社開発事業本部

オ 北海道旅客鉄道株式会社札幌駅

カ 北海道さっぽろ食と観光情報館関係者連絡協議会

キ ＪＲ北海道ホテルズ株式会社

ク 株式会社北海道熱供給公社

ケ ㈱札幌駅立売商会

コ 札幌駅地下街総合共同防火・防災管理協議会

５　訓練参加人員

５００人（整列人員　晴天時１８０人・雨天時８０人）

６　想　定

１０月８日に札幌市内で震度６強の地震が発生、一部の店舗等から火災が発生し、また負傷者も発生したため、協議会本部長は各対策本部長に対し、初期消火活動とお客様及び社員（従業員）を札幌駅南口駅前広場へ避難させるよう指示した。

7　主な取組み

(1) 事業所単位で災害発生時における自衛消防組織（地区隊）の連携強化を図ることを目的に、地震災害による出火を想定した一連の訓練計画を策定・実施する。

(2) 事業所間の災害情報を共有化するため、ＪＲタワー中央防災センターを中核に各防災センターは、事業所間における情報収集及び通報連絡訓練を実施する。

(3) 中央消防署及び北消防署の指導による煙道通過訓練を実施する。

8　実施内容

(1) 各事業所訓練項目

ア 緊急地震速報対応訓練	緊急地震速報を受信した場合の地震対応訓練
イ 初期消火訓練	消火器による初期消火訓練（みなしを含む。）
ウ 通報連絡訓練	防災センターへの通報連絡及び 119 番通報訓練
エ 避難誘導訓練	お客様及び社員（従業員）の避難誘導訓練
オ 救出救護訓練	災害により発生した負傷者の救出救護訓練
カ 安全防護訓練	防火シャッター及び防火戸の閉鎖訓練（一部みなし）

(2) 合同訓練（協議会対策本部運用訓練）

ＪＲタワー中央防災センターを中核に、各防災センター間における情報収集及び通報連絡訓練を実施する。

ア 協議会の通報連絡訓練

電話及びＦＡＸによる通報連絡訓練

イ 各防災センターからの通報連絡訓練

火災発生時における近隣施設への通報

（対象防災センター：ＪＲタワー・アピア・大丸・札幌駅）

(3) 煙道通過訓練（中央・北消防署による指導）

事業所から避難してきた従業員等に、煙で充満した視界不良の中を通過する訓練を実施する。

9　講評

(1) ＪＲタワー共同危機管理協議会会長（札幌駅総合開発株式会社社長）

(2) 札幌市中央消防署長

10　その他

(1) 雨天決行とし、避難場所を東コンコースに変更する。ただし、煙道通過訓練は中止する。

(2) 事故防止に細心の注意を払い、実災害活動と同様の緊張感をもって行動すること。

(3) 服装等は、行動しやすいものを着用すること。



【避難誘導訓練】



【煙道通過体験訓練】

「煙道通過訓練」実施要領

ＪＲタワー共同危機管理協議会

１　訓練想定

10 月 8 日の店舗営業時間帯に緊急地震速報を受信、その直後、ＪＲタワー施設周辺で震度６強の地震が発生し、各施設において火災が発生したため、協議会本部長は各事業所の対策本部長に対し、札幌駅南口駅前広場に設置した一時避難場所に施設内のお客様と従業員を安全に避難誘導するよう指示した。

２　煙道通過訓練場所

札幌駅南口駅前広場北側（仮設テントを２基設営）

３　訓練実施者及び訓練項目

(1) 訓練実施者

ア　アピア店　　１００名

イ　札幌ステラプレイス店　　２４０名

ウ　JR 札幌駅、JR タワーホテル日航札幌、大丸札幌店及び JR タワーオフィスプラザさっぽろ各事業所　　１００名

(2) 訓練項目

火災により発生した煙（無害）の中を通過する体験訓練

４　訓練指導機関

(1) 札幌市中央消防署

(2) 札幌市北消防署

５　訓練実施内容

(1) 一時避難場所に向かう経路上に設置した仮設テントに発煙器（スモークマシン）の煙を充満させ、視界不良の中を通過する体験訓練を実施する。

(2) 実施者は、火災により発生した煙の中を避難する想定で、消防署員による実技指導により煙を吸い込まないようハンカチ等で口を覆い、姿勢を低く保ったまま通過する訓練を実施する。

６　使用資機材

(1) テント　　２張(中央・北消防署から借用)

(2) 発煙器（スモークマシン　薬液含む）　　２基(中央・北消防署から借用)

７　訓練実施に係る留意事項

(1) 煙道通過訓練の開始は、アピア・ステラプレイスの各事業所従業員（事前指定）から行うものとし、対象者全員が終了した時点をもって訓練終了とする。

(2) 仮設テントは事前に設営しておくものとする。

８　その他

消防機関等との調整により変更が生じた場合は、その都度、ＪＲタワー共同危機管理協議会事務局から連絡する。



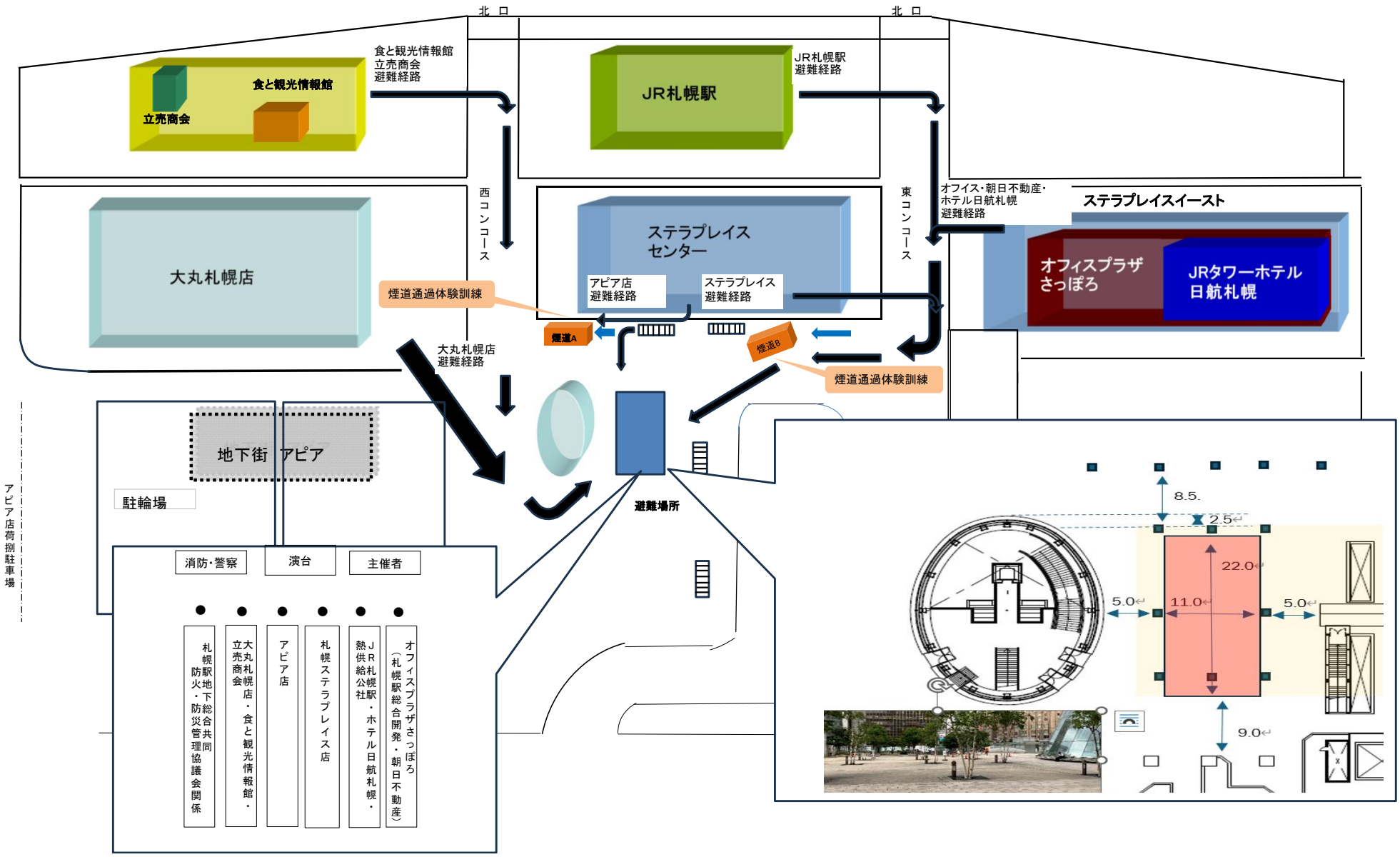


（別紙）

煙道通過人数一覧表

事業所名	煙道通過人数
アピア店（１００人）	（煙道 A） 避難時６０人、講評後４０人
札幌ステラプレイス店（２４０人）	避難時２００人、講評後４０人(B) （煙道 A８０・煙道 B１２０）
ＪＲ札幌駅・ホテル日航札幌・熱供給公社	講評後３０人（煙道 B）
オフィスプラザさっぽろ	講評後４０人（煙道 B）
大丸札幌店・食と観光情報館・立売商会	講評後３０人（煙道 A）
総防協	（煙道 A）
合　　計	４４０人

2026年度　JRタワー秋季総合防災訓練　全体概要図



整列位置図（晴天用：札幌駅南口駅前広場）

消防･警察関係　　演 台　　主催者

【プラカードの表示】

① オフィスプラザさっぽろ

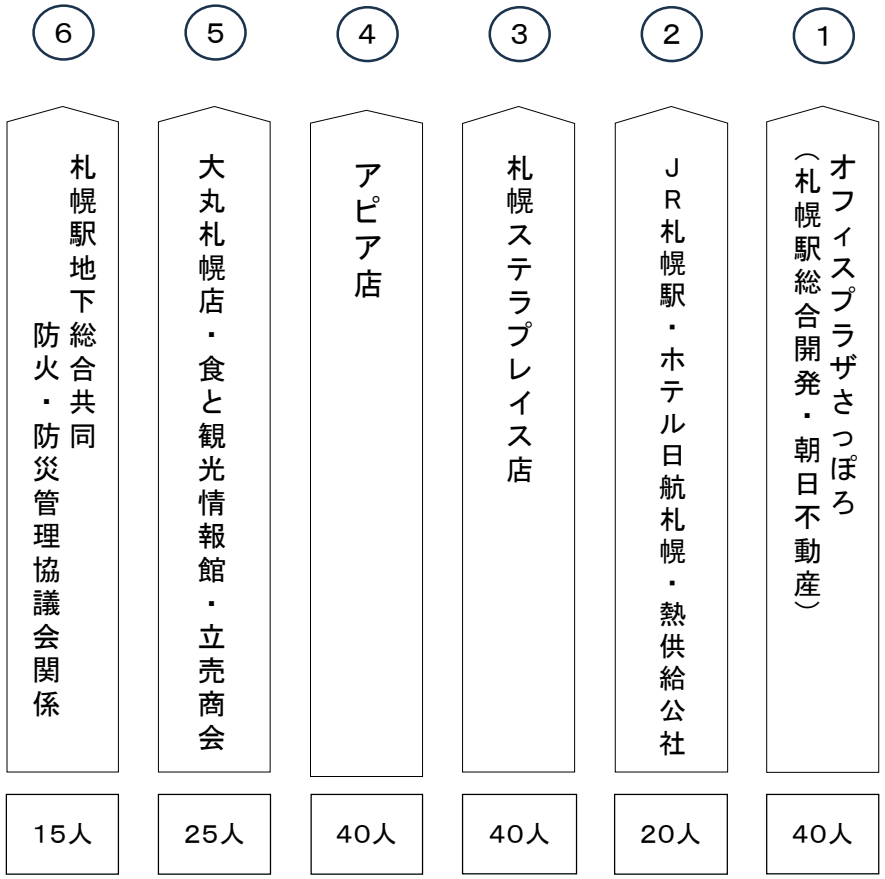
② JR札幌駅
ホテル日航札幌

③ ステラプレイス店

④ アピア店

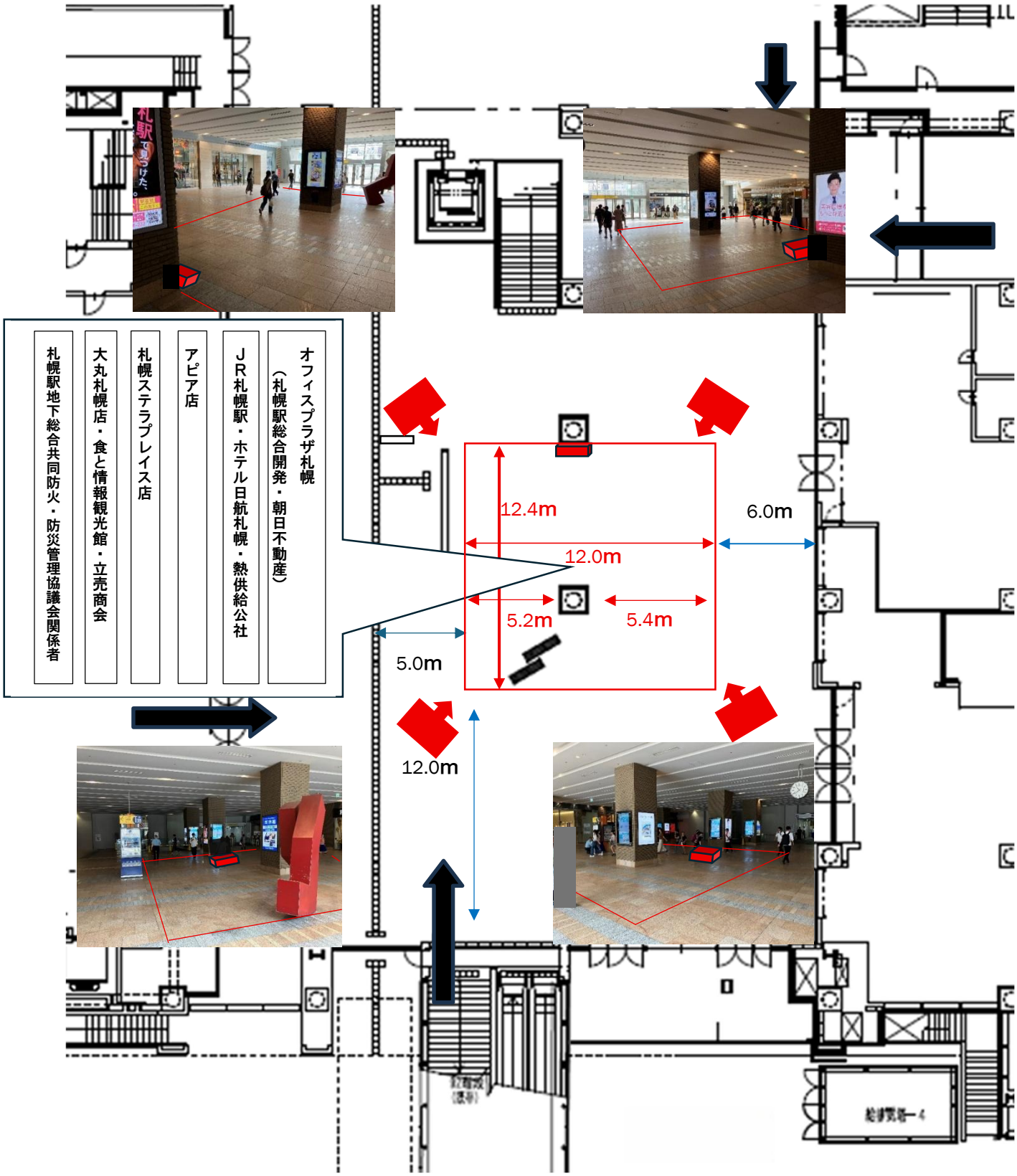
⑤ 大丸札幌店

⑥ 総防協



晴天時　合計　180人	15人	25人	40人	40人	20人	40人

２０２６年度　ＪＲタワー秋季総合防災訓練避難場所（雨天時：東コンコース）



整列位置図（雨天用：東コンコース）

消防･警察関係　　演 台　　主催者

【プラカードの表示】

① オフィスプラザさっぽろ

② JR札幌駅
ホテル日航札幌

③ アピア店

④ ステラプレイス店

⑤ 大丸札幌店

⑥ 総防協

⑥	⑤	④	③	②	①
札幌駅地下総合共同防火・防災管理協議会関係	大丸札幌店・食と観光情報館・立売商会	札幌ステラプレイス店	アピア店	ＪＲ札幌駅・ホテル日航札幌・熱供給公社	オフィスプラザさっぽろ（札幌駅総合開発・朝日不動産）
15人	10人	15人	15人	10人	15人

雨天時　合計　80人